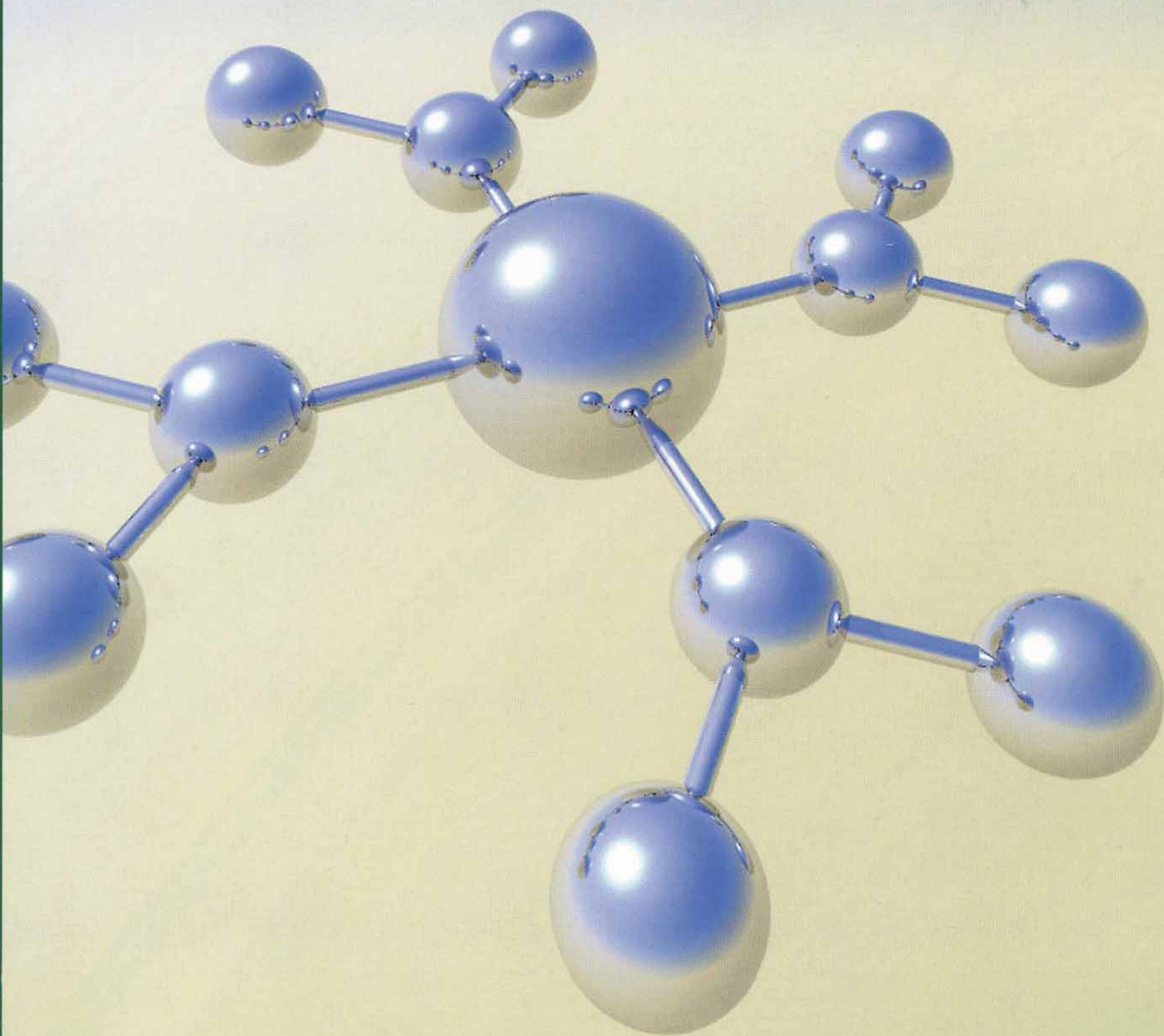


Reinforced
Earth
with
Chemical
Grouting

REC工法

機械式搅拌工法



三和土質基礎株式会社

シンプル工法、だから低コスト。

工期とコストを抑えた画期的な地盤改良法です。

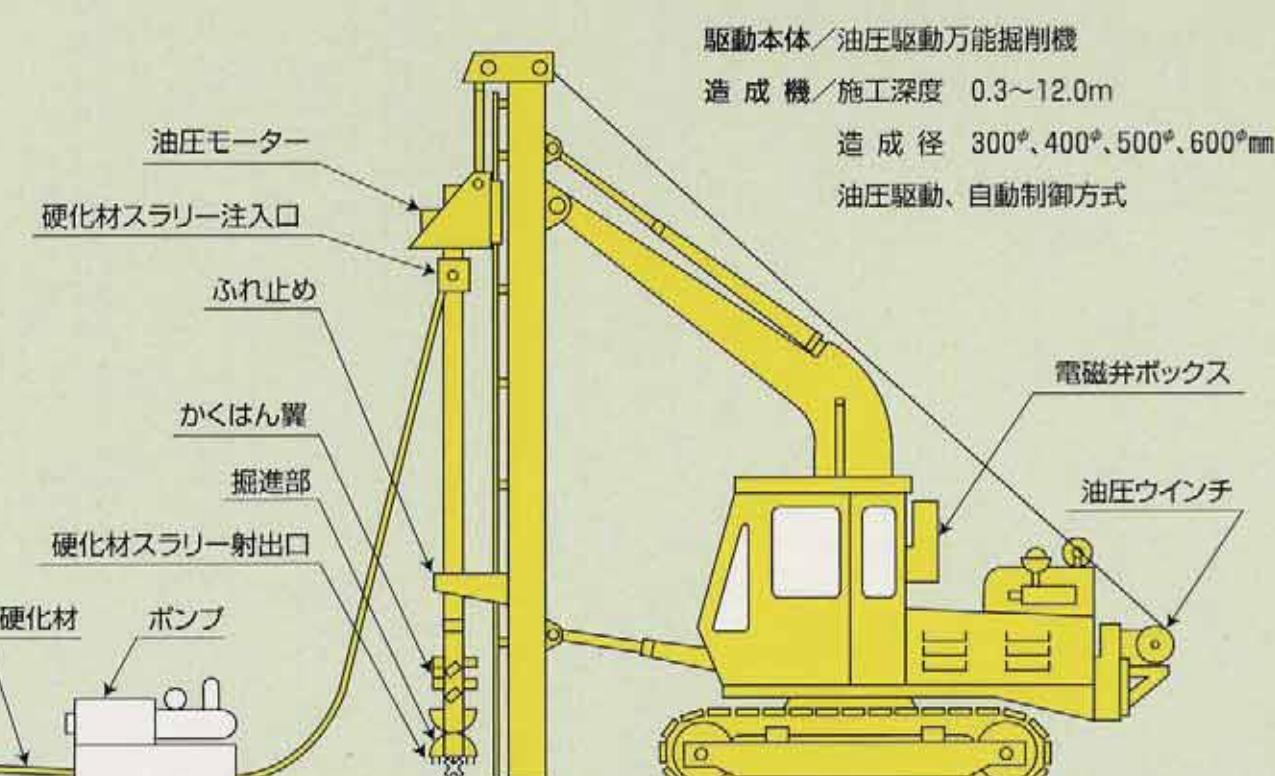
これまでの地盤改良工事の課題を一気に解決した

地盤改良にはいろいろな工法がありますが、作業効率や経済性、そして周辺への影響などさまざまな問題が指摘されてきました。

REC工法は、これらの問題を一気に解決。その数々のすぐれた特長で注目を集めています。

- ポンプの吐出圧のみで噴射されるスラリーは刃先の拡散機構によって、切削面の全体に拡がり、目的の領域に均一な杭状の柱体を造成することができます。
- 緩速回転でかくはんしますから、砂層などでも均一な改良土を造成します。
- 油圧駆動ですから、機械の作動はスムーズ。垂直誤差も極めて少く、効率的に施工することができます。
- 造成機は軽量です。地盤の悪い所でも簡単に作業を進めることができます。
- 作業効率が高く、打杭工法に比べ低コストです。
- 近隣に及ぼす騒音、震動の心配がほとんどありません。
- 住宅の地下室などをつくる場合の土止めにREC工法を採用出来、尚遮水効果もあります。
- 土壤硬化剤を使用することによって、普通の土壤はもちろんのこと、工事が困難な腐植土混り地盤にも抜群の威力を発揮します。

REC工法は、トラック一台分のスペースがあればどこでも施工可能です。



プラント占有巾
B×L=3m×10m

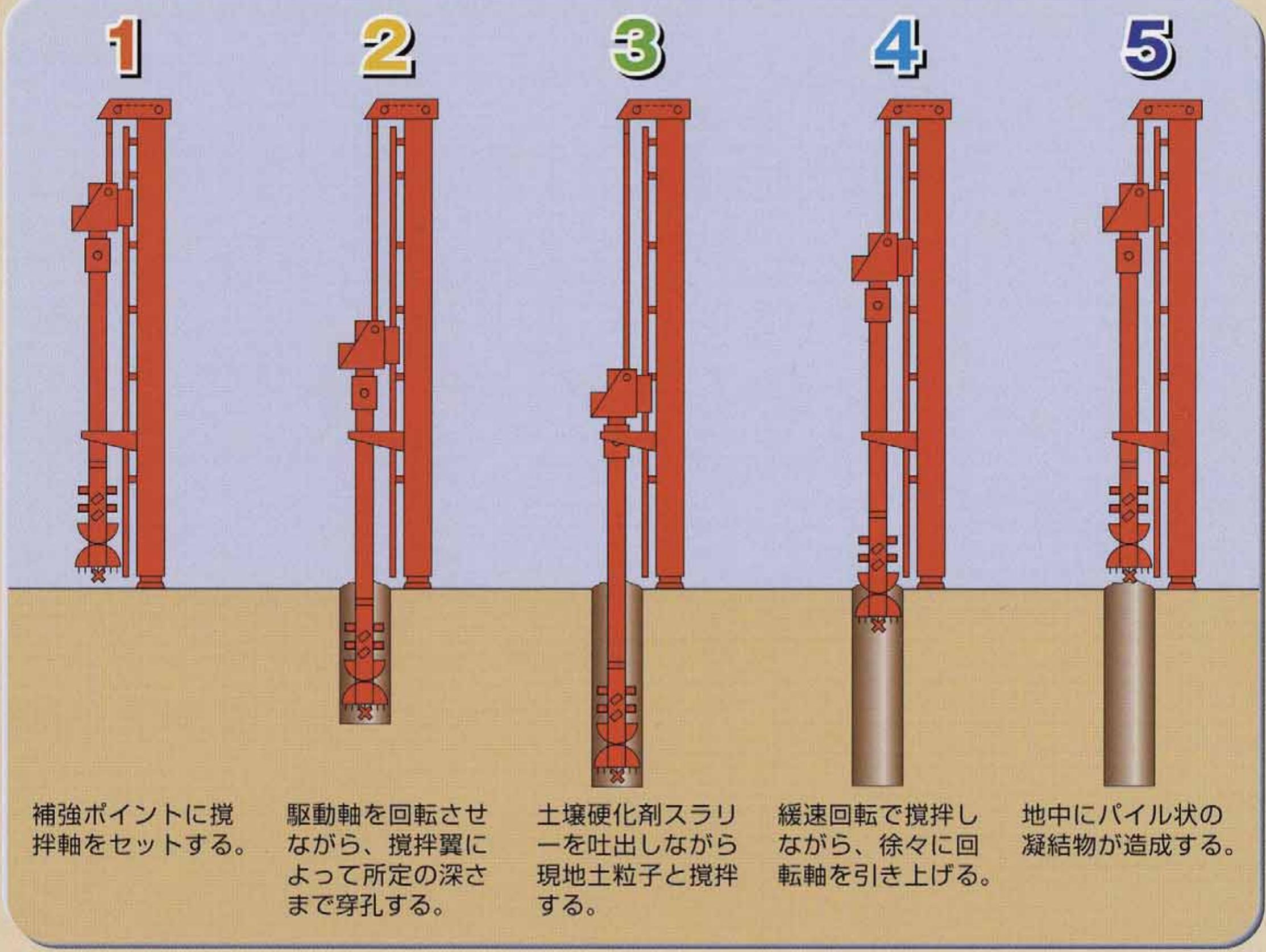
バックホー (0.2~0.45) 改良機
リーダー 7~12m

1

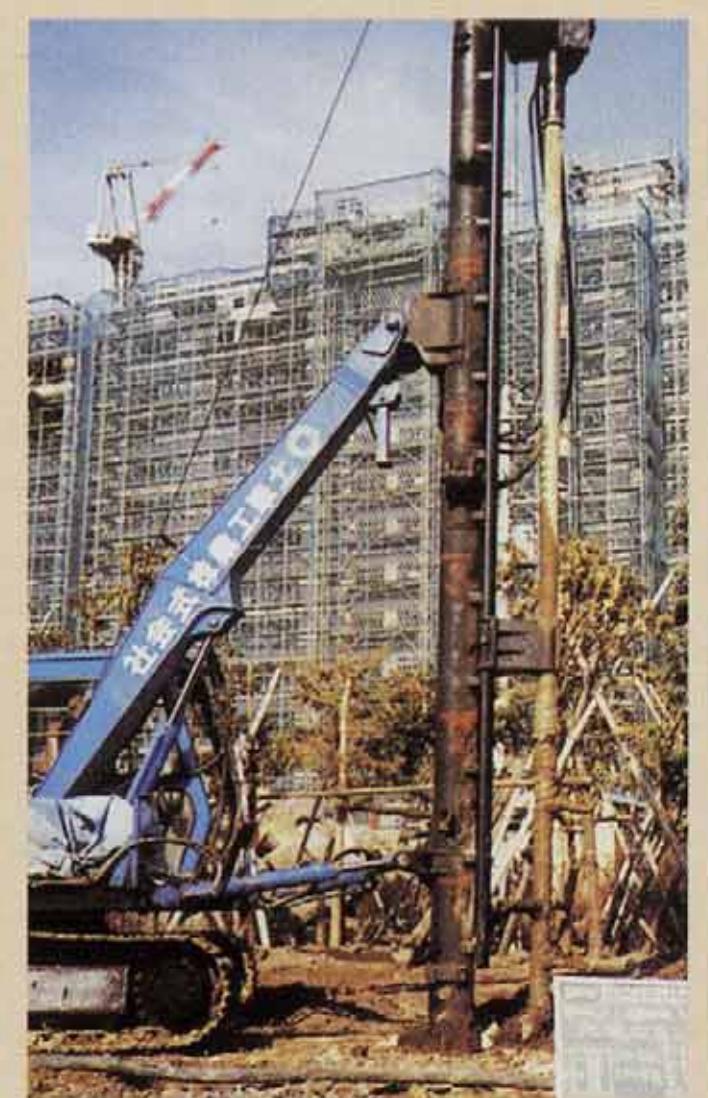
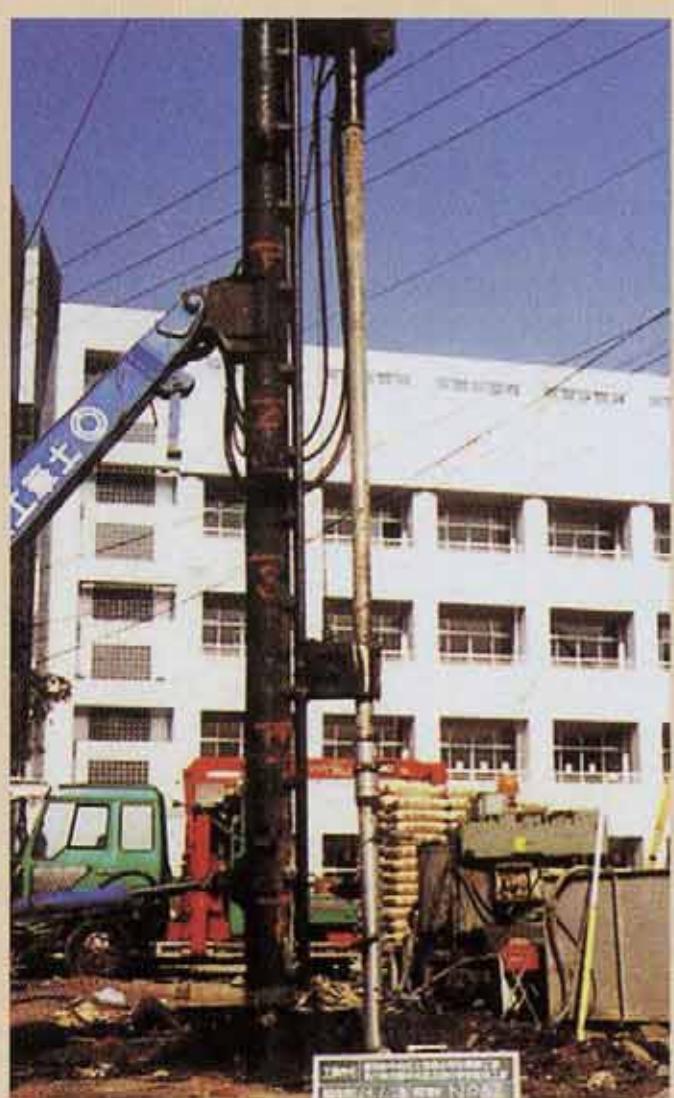
2

3

穿孔から改良土の形成までを1工程で—
スピーディに工事を進めることができます。



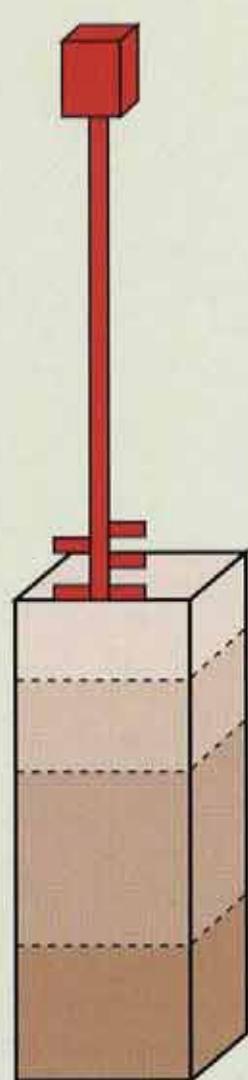
4



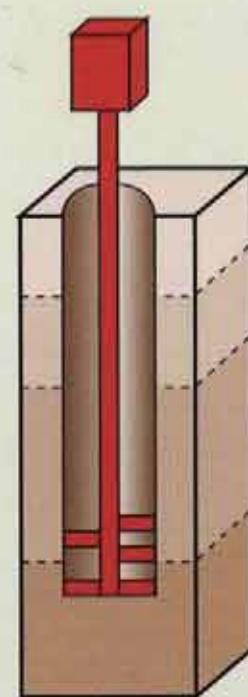
長年のノウハウを生かした迅速な地盤改良で、

施工方法（施工手順例）

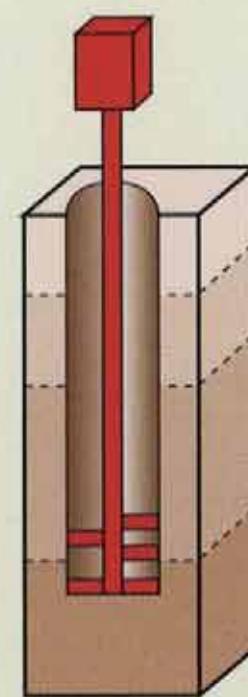
1 補強ポイントに
搅拌軸をセット
する。



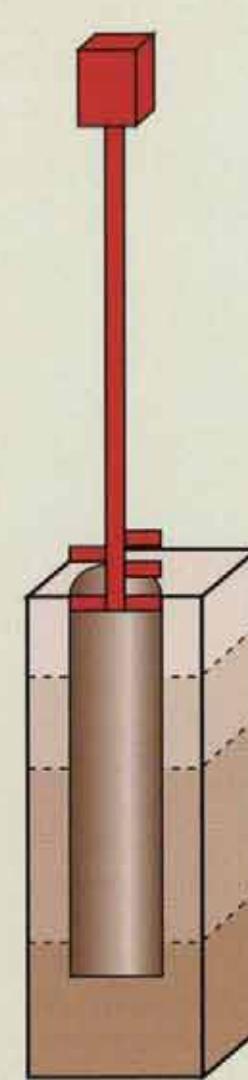
2 駆動軸を回転さ
せながら、搅拌
翼によって所定
の深さまで窮孔
する。



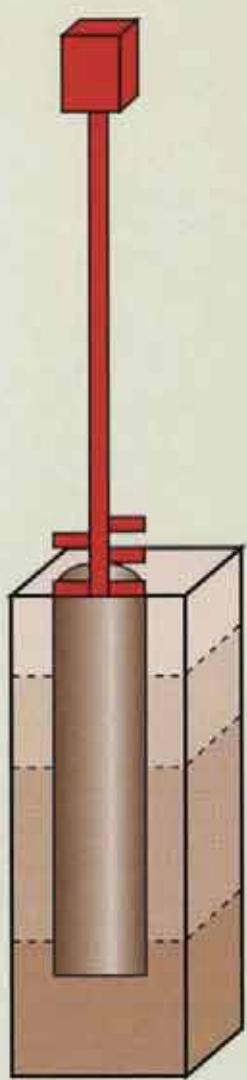
3 固化材スラリー
を吐出しながら
現土粒子と搅拌
する。



4 搅拌しながら、
徐々に回転軸を
引き上げる。



5 地中に柱状の凝
固物が形成され
る。

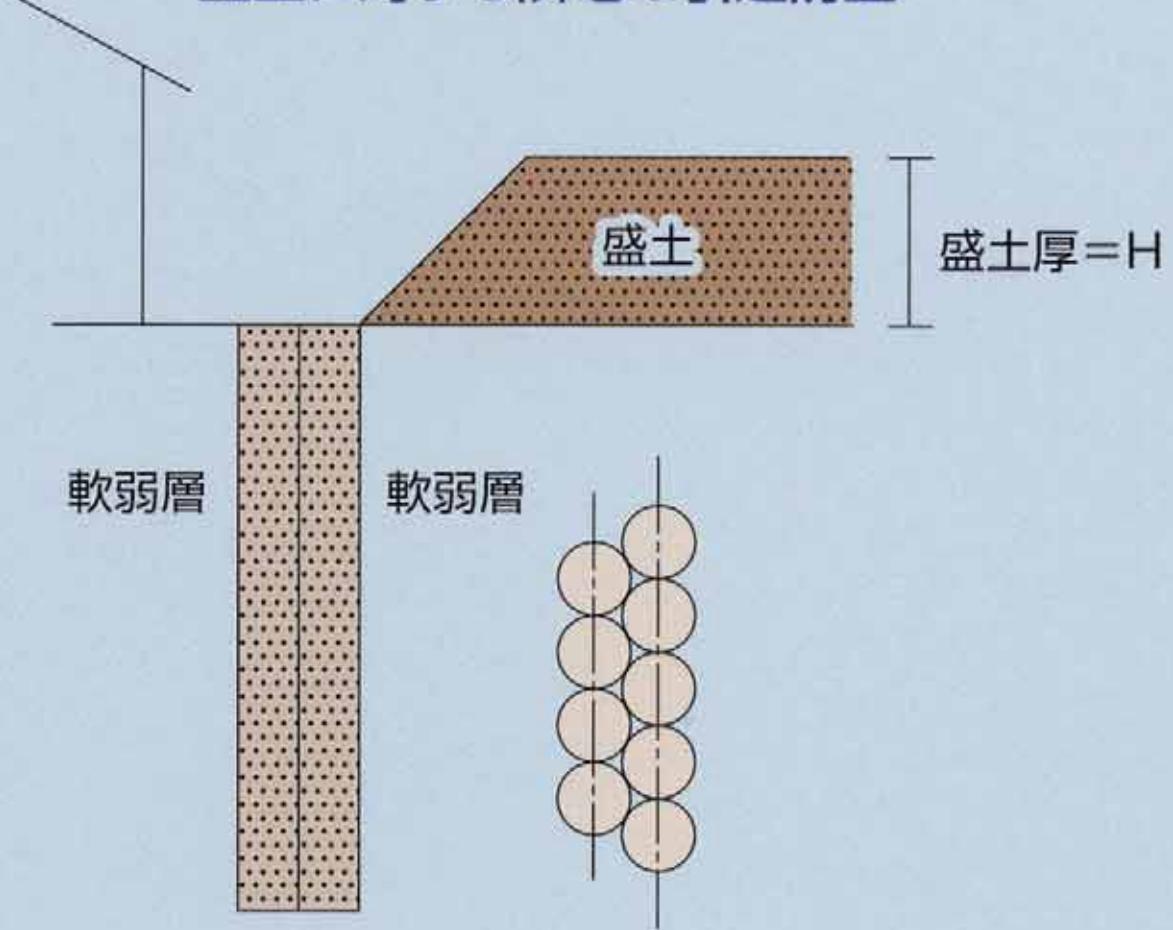


低騒音低震動でトラブルなし!!

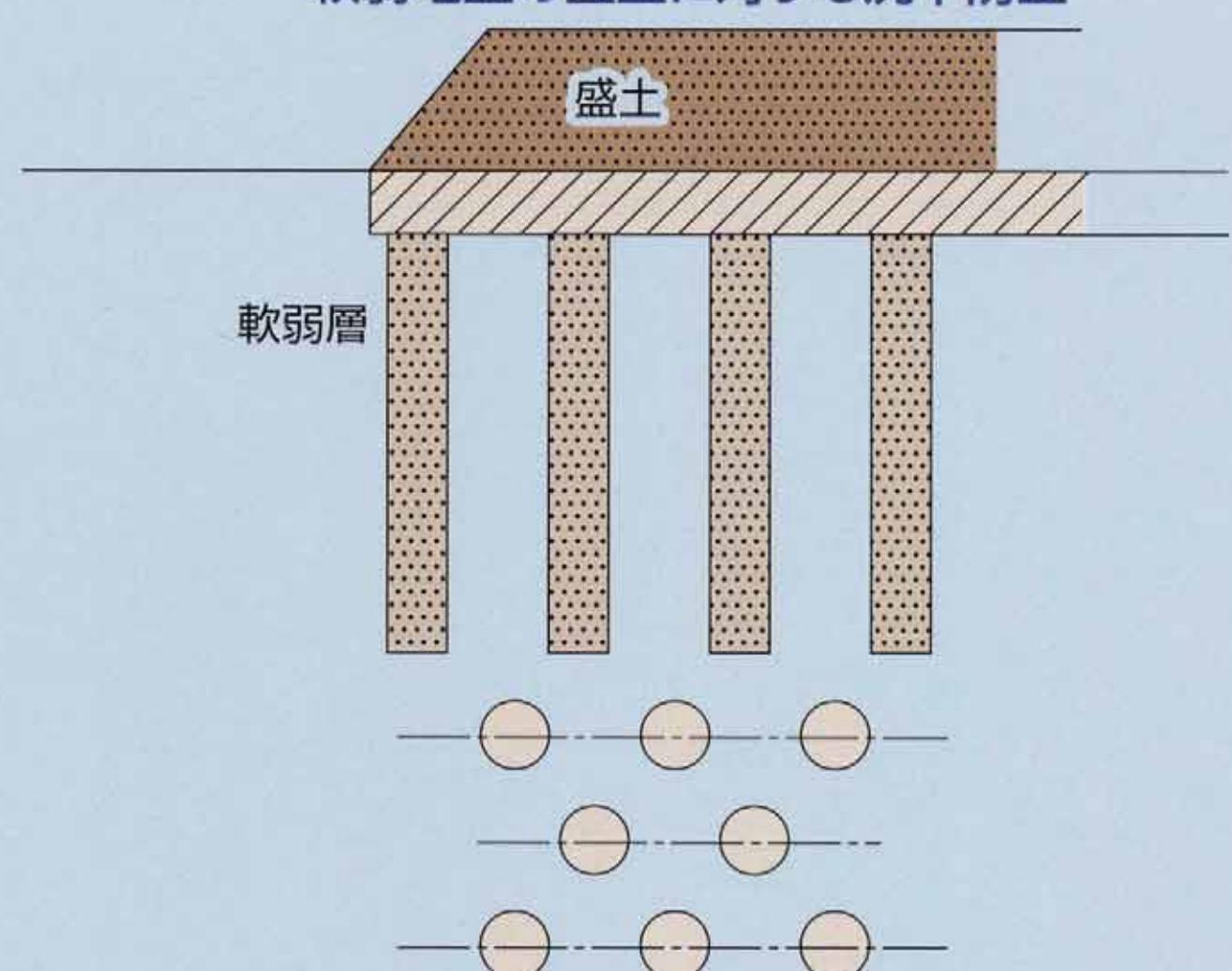
基礎工事は近隣からの騒音・振動に対しての苦情が多いというのが実情であります。近年、騒音・振動の少ない工法が開発・研究されています。REC工法は、低騒音・低振動で公害が少なく都市部・住宅街の施工に際しても、安心できる工法として評価されています。

あらゆる土質に対応します。

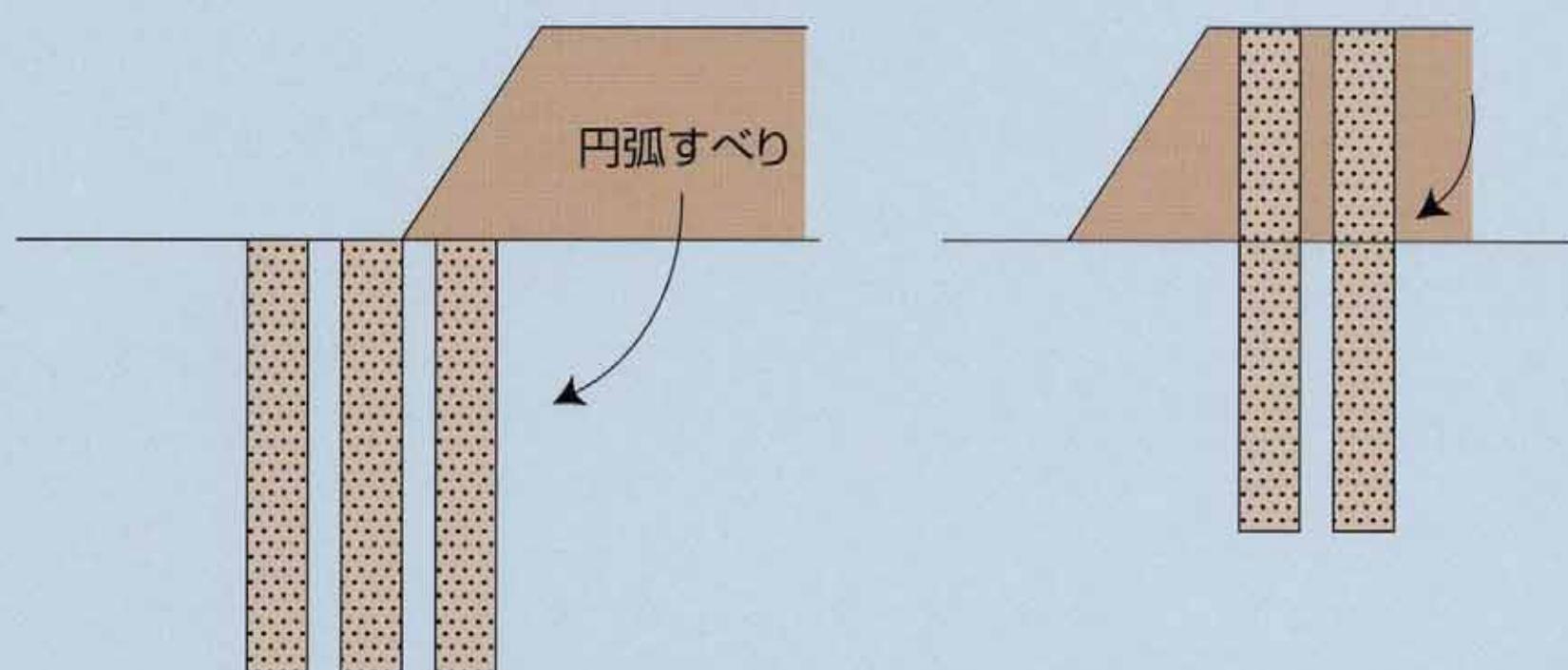
盛土に対する隣地の引込防止



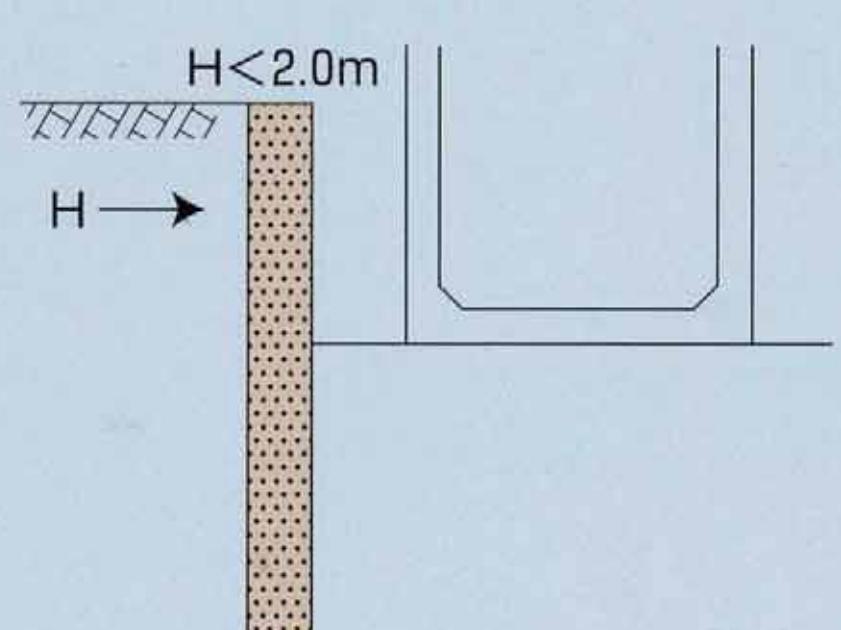
軟弱地盤の盛土に対する沈下防止



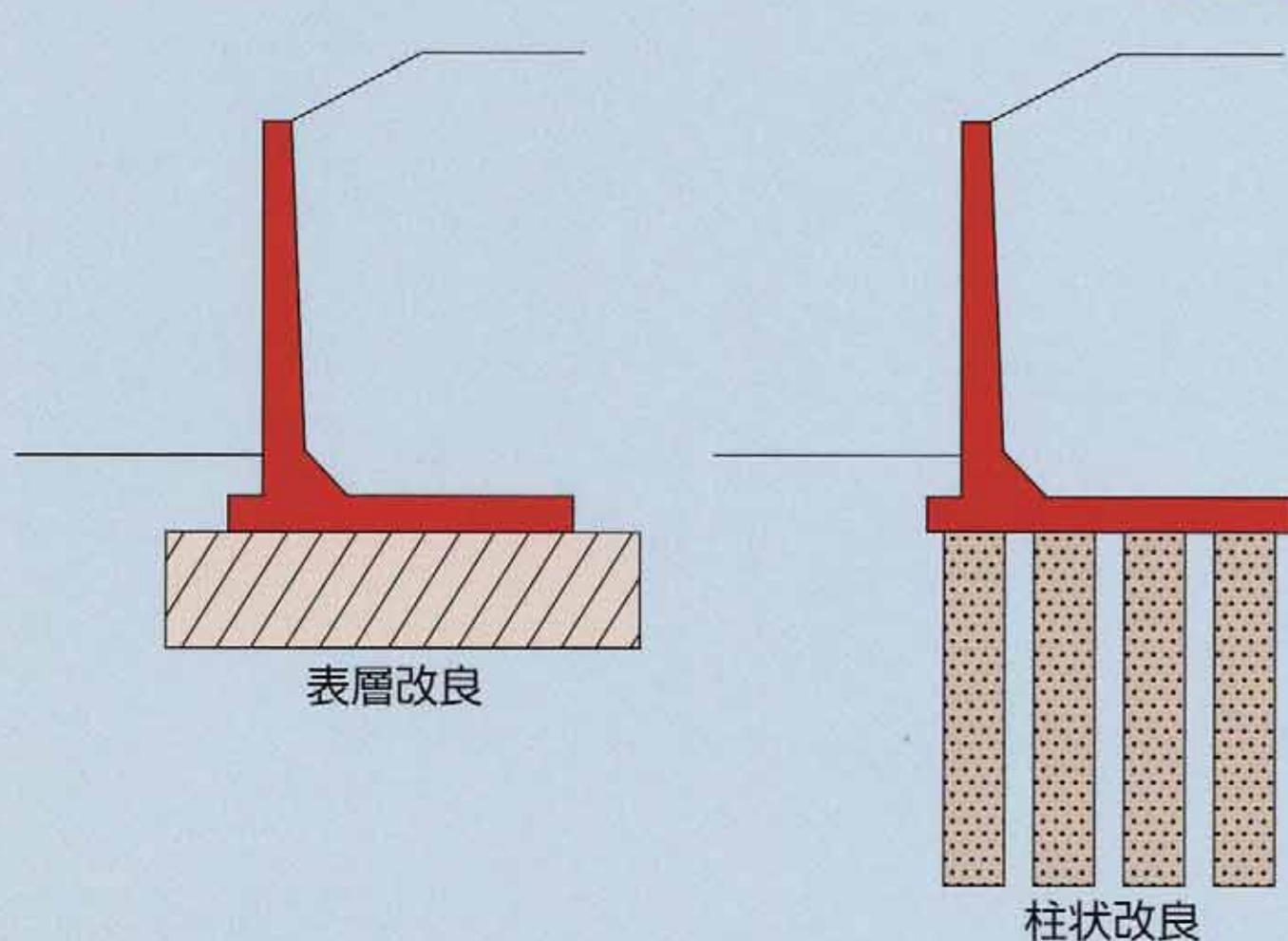
円弧滑りの防止



土留用連続壁



擁壁下部地盤改良



表層改良

柱状改良

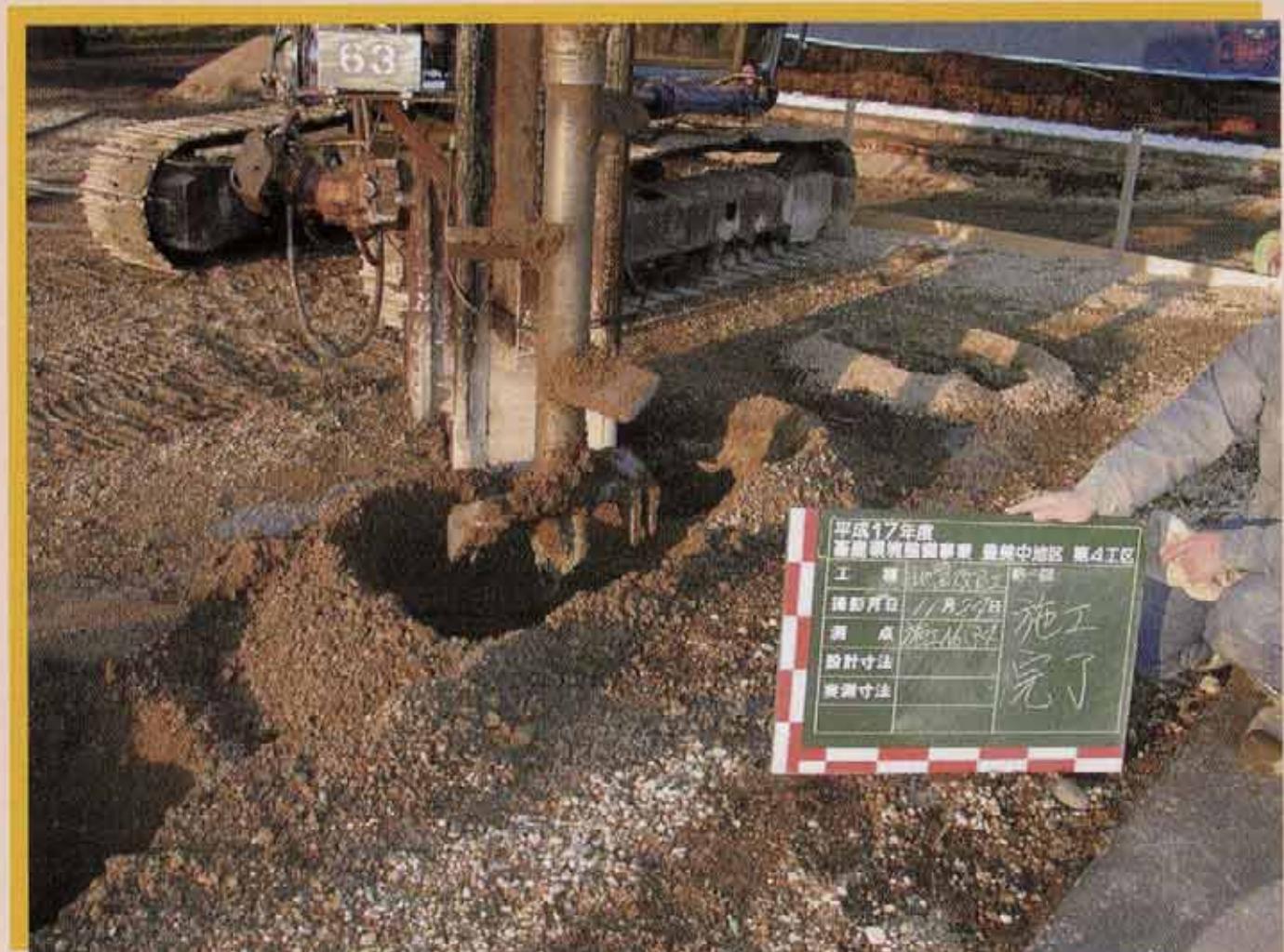
住宅だけではなく、道路・堤防などさまざまな土木・

REC工法

I. 資機材搬入



II. 地盤改良



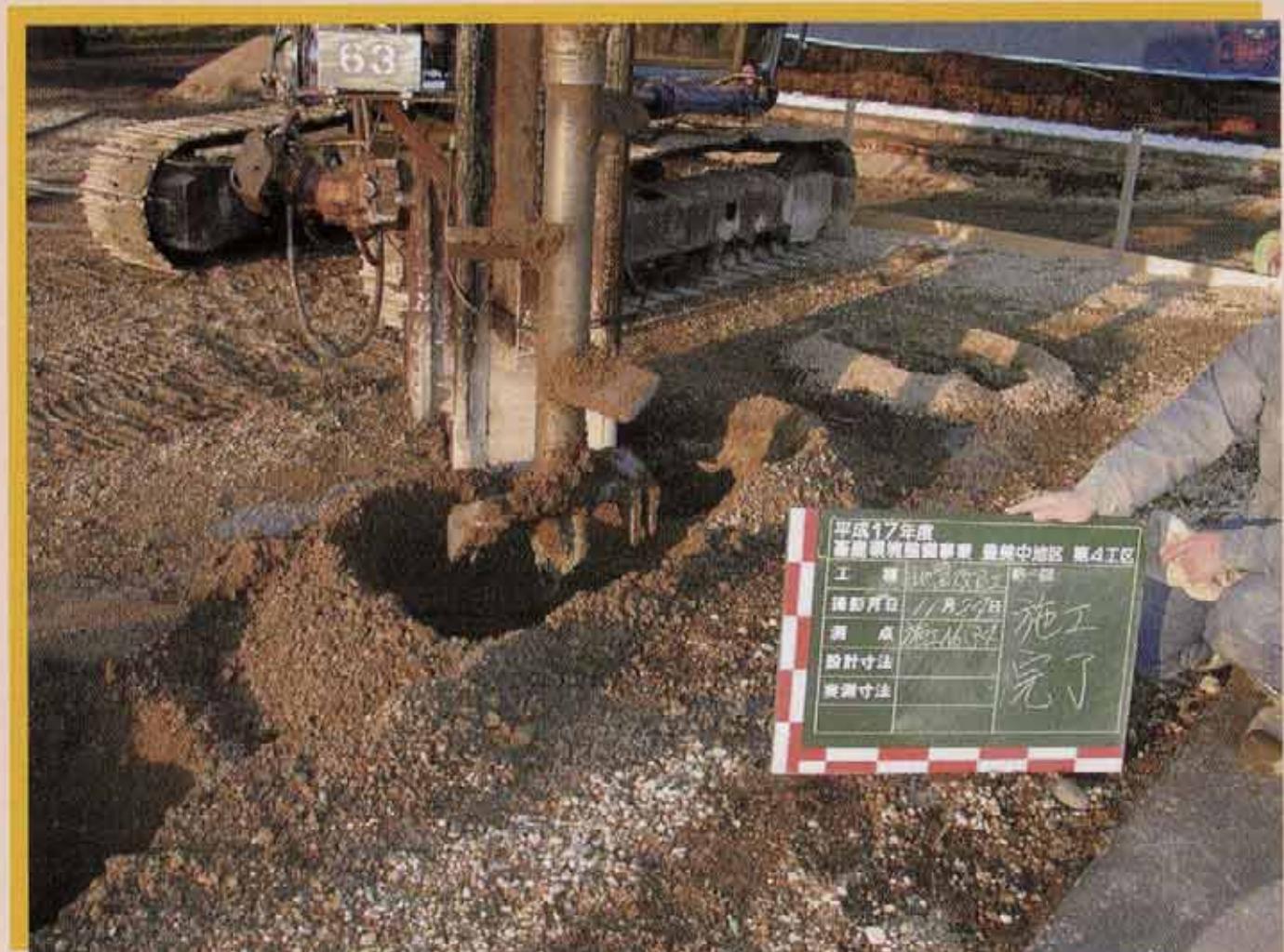
住宅だけではなく、道路・堤防などさまざまな土木・

REC工法

I. 資機材搬入

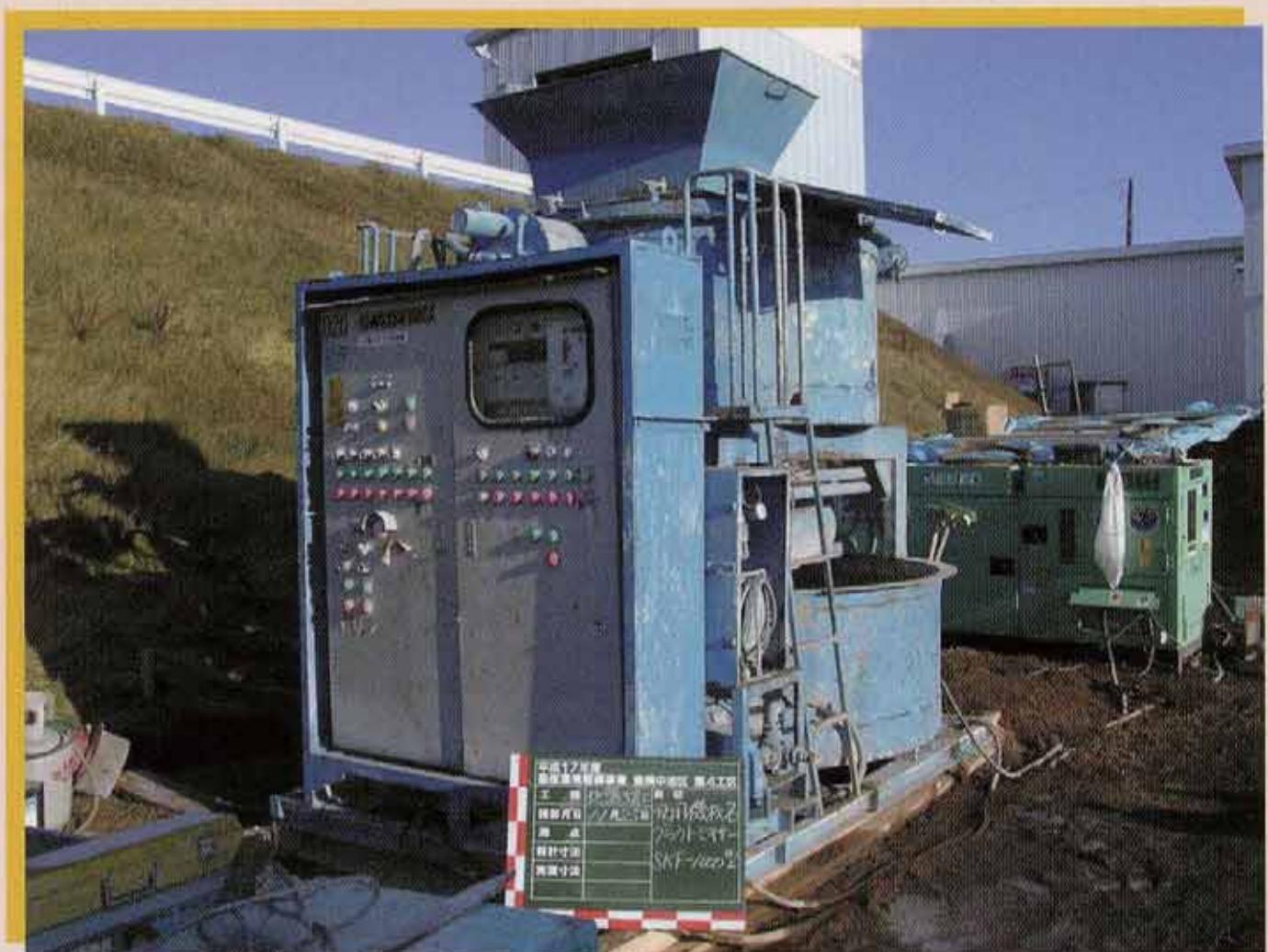


II. 地盤改良

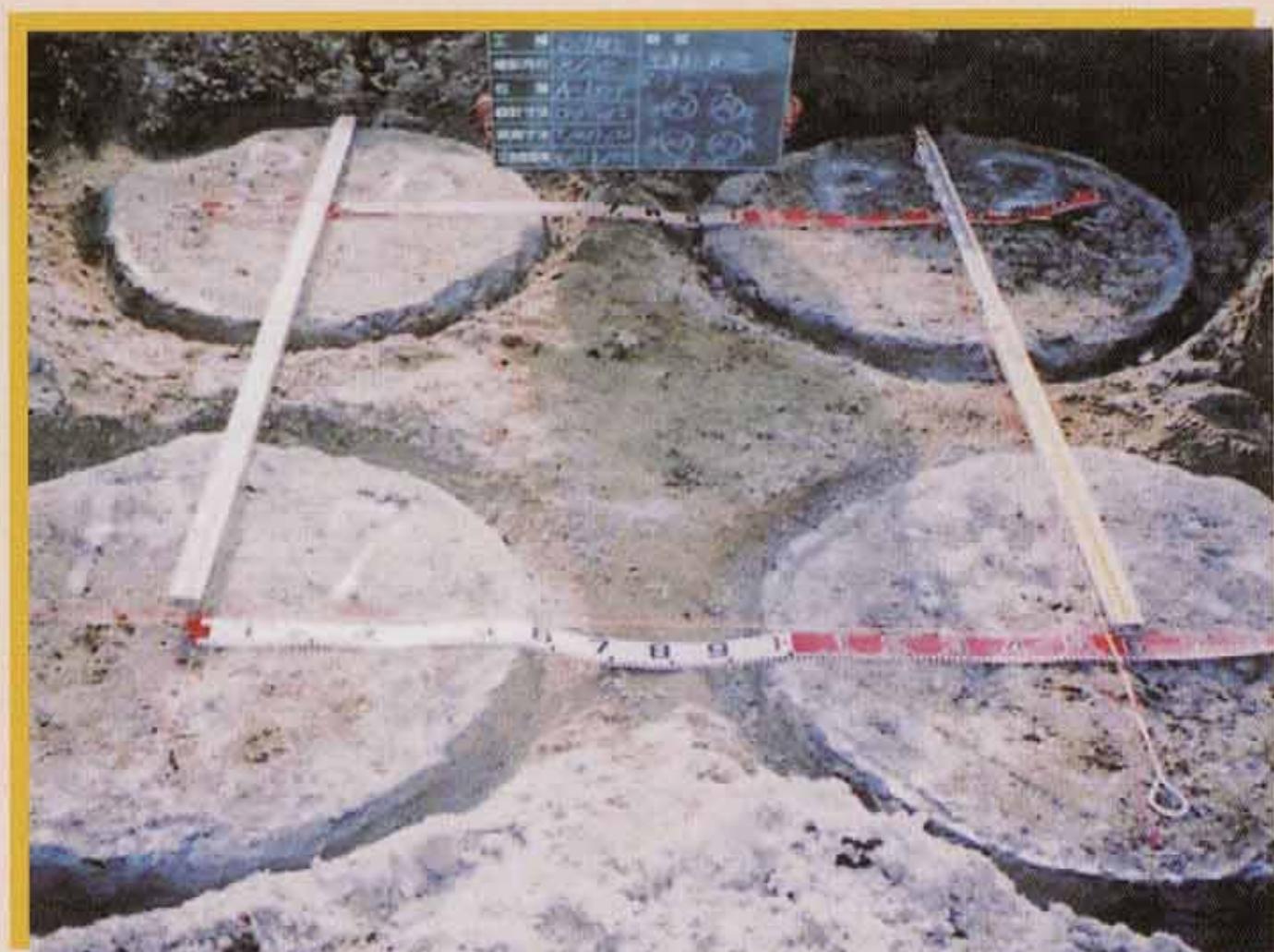


建築工事の地盤改良に活躍しています。

III. 施工管理機材

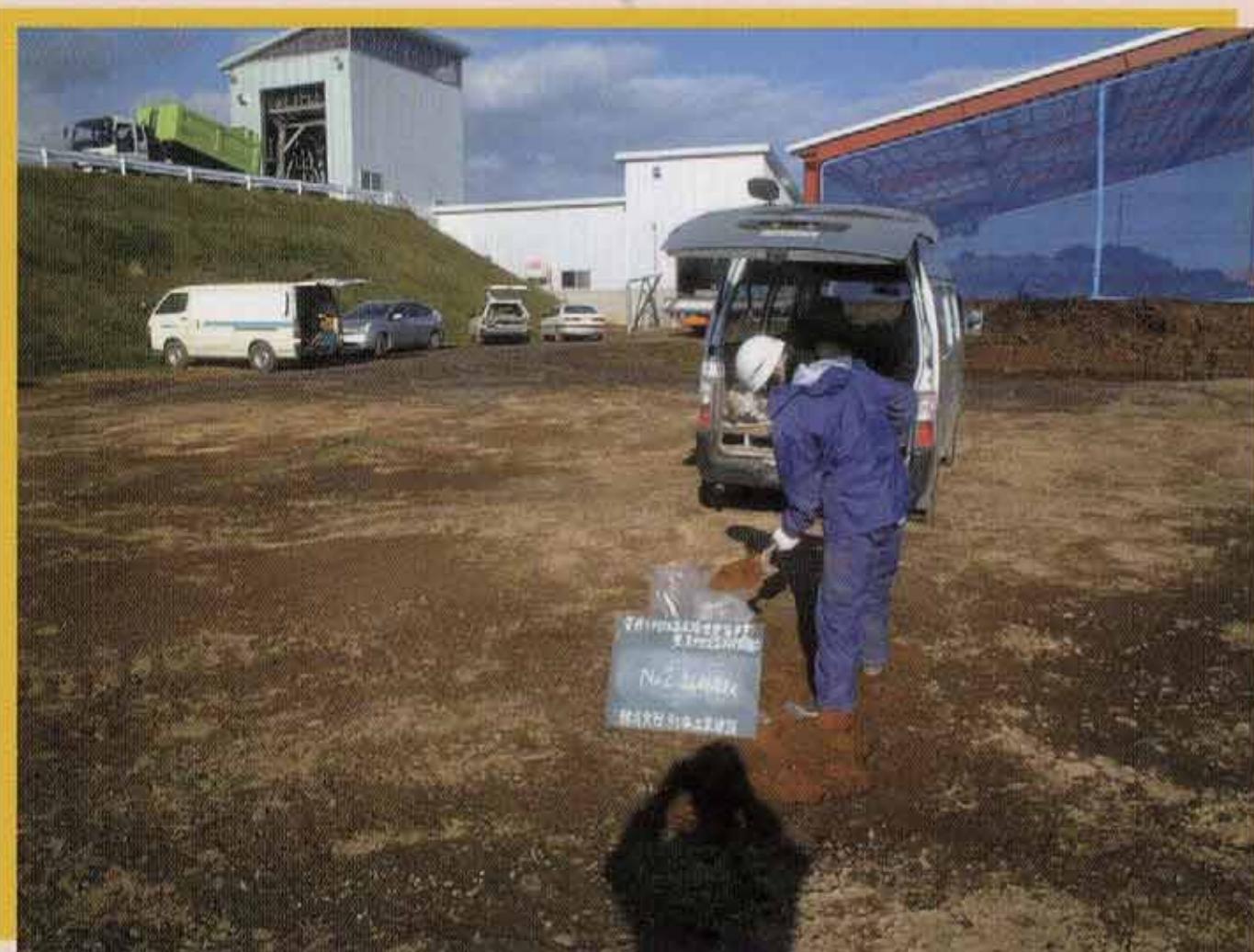


IV. 出来形確認



浅層混合 処理工

I. 事前確認試験



現場試料採取



配合試験

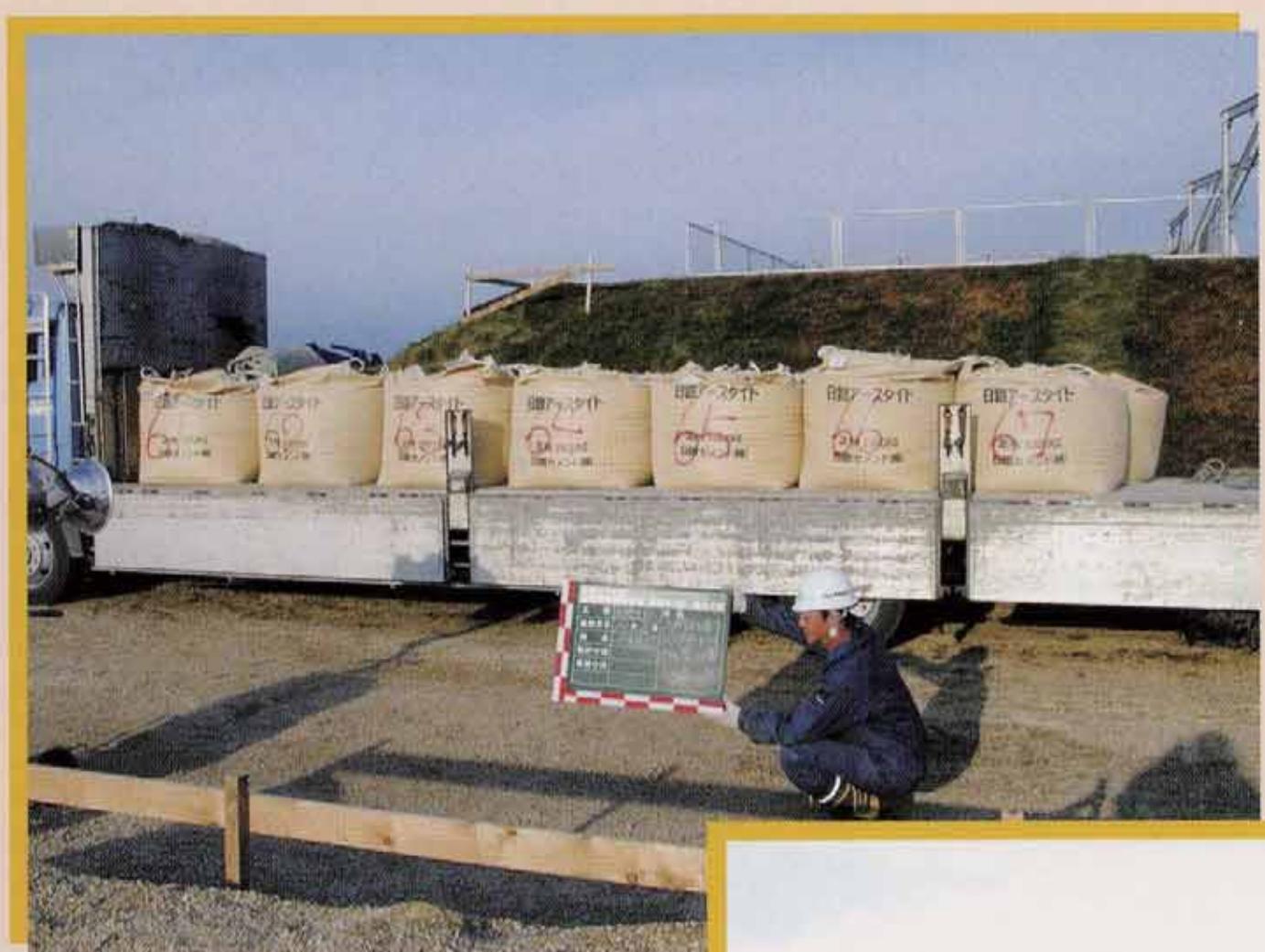


配合試験（圧縮強度試験）



支持層確認

II. 現場施工



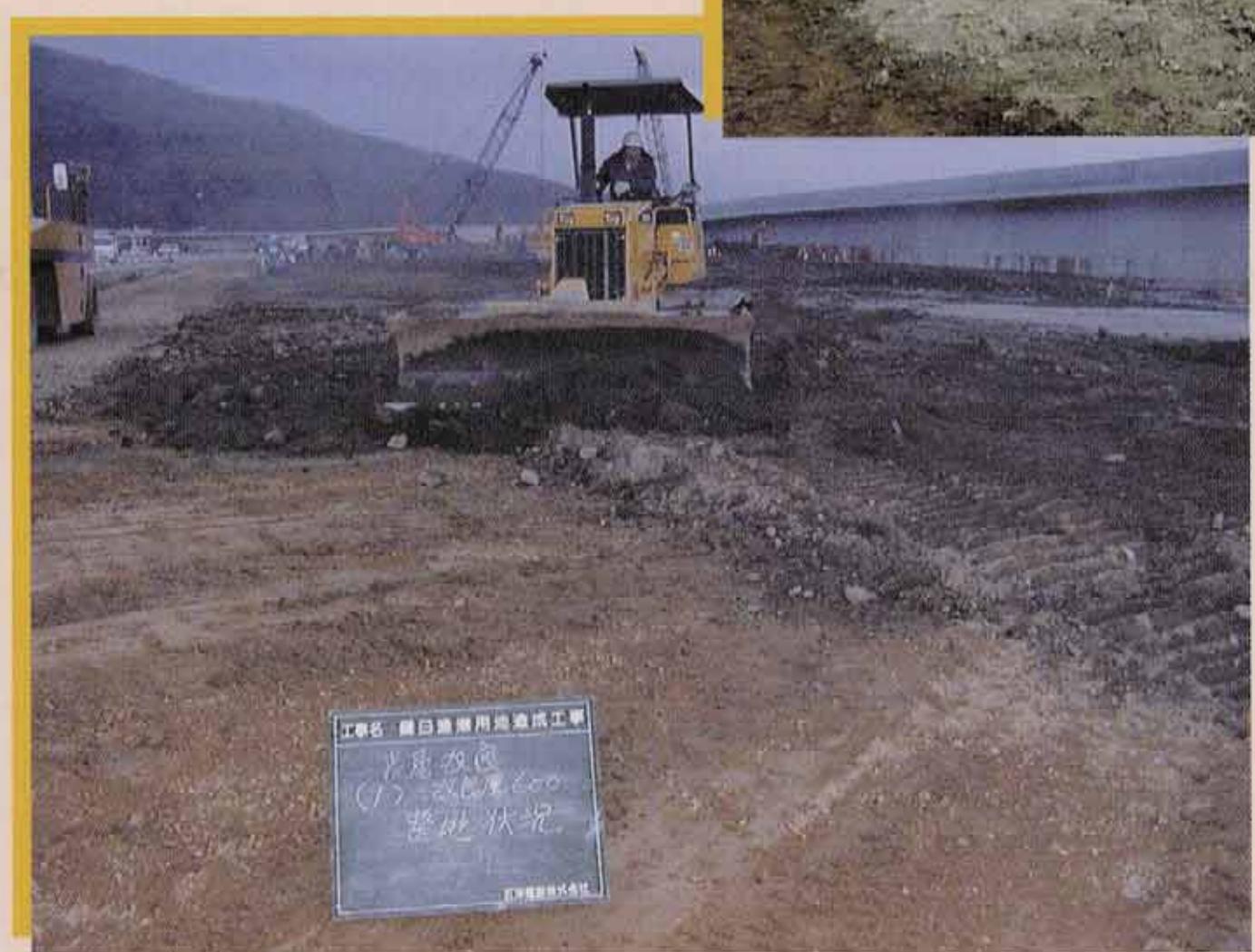
固化材搬入



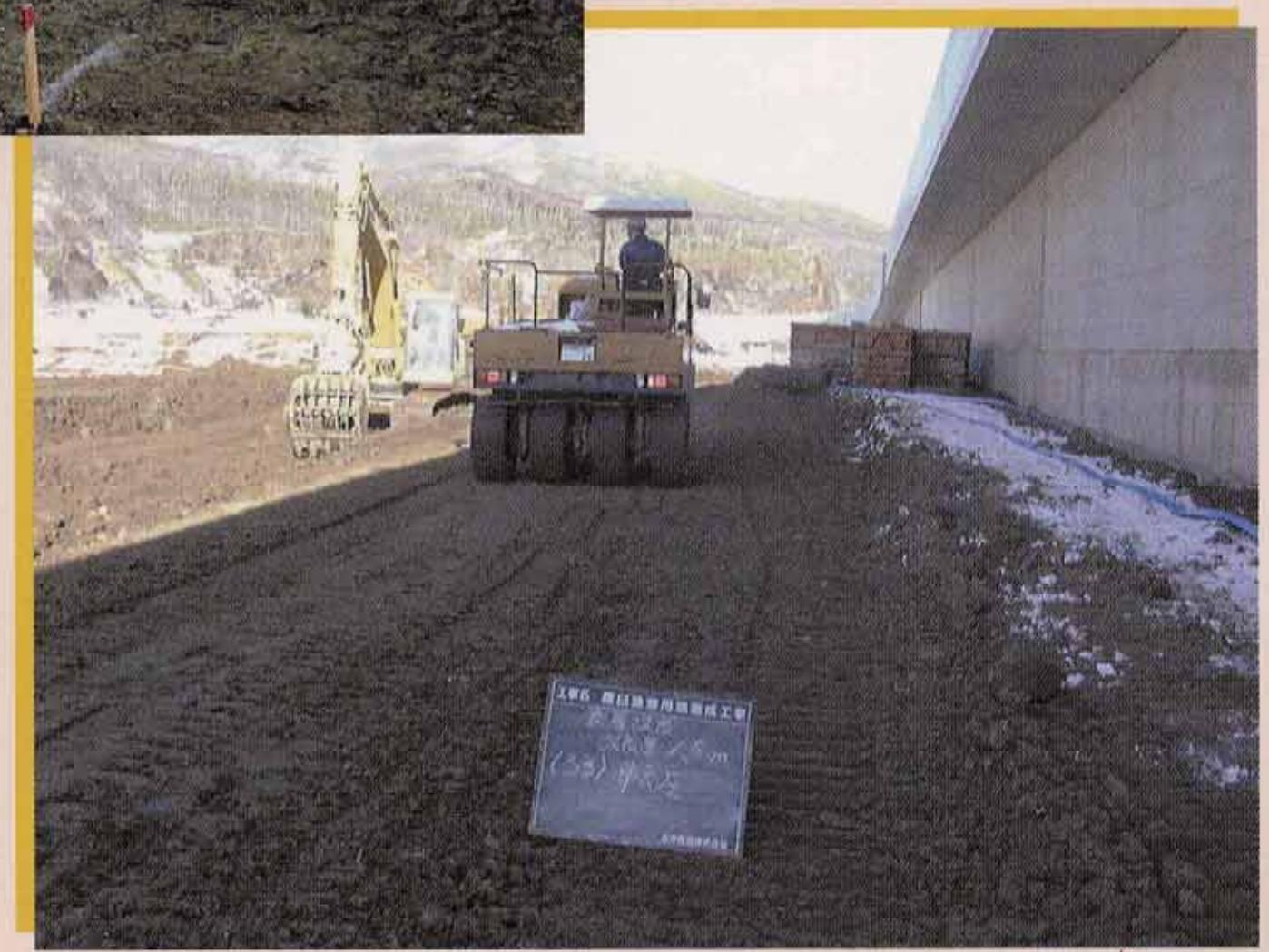
固化材散布



混合



敷均し



転圧

多種・多様な目的で施工実績があります。

REC工法
施工実績

市街地での近隣防護



道路改良



建築基礎





<http://www.sanwa-dositu.co.jp>

営業品目

●コンサルタント

地盤安定解析及び特殊土木設計

●地質調査

地質調査、土質調査、各種室内土質試験、揚水試験及び現場透水試験、平板載荷試験及び杭載荷試験
物理探査及び電気探査

●排水(地下水位低下)工法

ウエルポイント工法、バキュームディープウェル工法、高揚程ウェルポイント(特許No.1588278)
ディープウェル工法、リチャージ工法、集排水ボーリング

●薬液及び特殊注入工事

スリーブ注入工法、クリーンロック工法、LAG工法、恒久グラウト工法、JSG工法
CJG工法、CCP工法、エアーモルタル工法、軽量気泡コンクリート工法

●グラウンドアンカー工事

VSLアンカー工法、VSL-DiBoアンカー工法(特許No.2048792)、VSL永久アンカー工法
KJSアンカー工法、KTBアンカー工法、KTB・引張型SCアンカー工法
Uターン除去アンカー工法、フロテックアンカー工法

●特殊基礎工事

BH工法、深礎工事、深層混合処理工法、SWING工法、REC工法
フレキシブル鉄筋コンクリート杭工法、パイプルーフ工法

●法面保護工事

フィットフレーム工法、エコスロープ工法、SPCウォール工法、フレクションフレーム工法
急傾斜地相取工法

●さく井工事

工事用・工業用井戸、飲料水用井戸

●建設汚泥リサイクル

ポンテラン工法

●土壤・地下水汚染調査及び修復

グラウンドエア・システム(地表吸引法)、メタルグリップ

●自然エネルギー開発事業

地中熱源ヒートポンプシステム工事、地下水還元型ロードヒーティングシステム工事
地下水利用型融雪システム工事

人と大地に やさしい未来を拓く

三和土質基礎株式会社

建設業許可

北海道知事 石 第18549号

地質調査業登録

国土交通大臣 第1249号

建設コンサルタント登録

土質及び基礎部門 第7167号

産業廃棄物処分業許可

造粒固化(汚泥) 第0120078409号

環境庁指定土壤汚染対策調査機関(事務所) 環2003-1-181

本社

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条5丁目73番地

TEL 011-642-9391 FAX 011-644-8911

機材センター

〒063-0832 札幌市西区発寒12条13丁目1020番136

TEL 011-661-0908 FAX 011-661-0977

土質試験室

〒063-0832 札幌市西区発寒12条13丁目1020番136

TEL 011-664-0789

東北連絡所

〒983-0005 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目7-8(石原ビル)

TEL 022-254-3770

石狩営業所

〒061-3208 石狩市花川南8条1丁目24番地

TEL 0133-72-3588